

市報 やまぐち

2000 1/1 NO.1259

JANUARY
Communication Paper Yamaguchi

CONTENTS 主な内容

パンプローナ市との国際交流
新春インタビュー
山口の たつ あれこれ



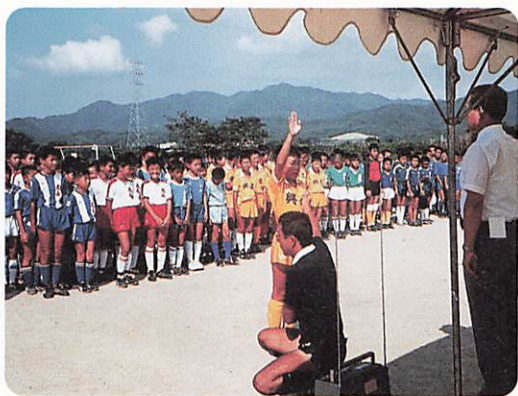


今年はパンプローナ市姉妹都市締結20周年
スペイン・パンプローナ市
と山口市の国際交流

パンプローナ市って？

スペイン北東部、フランスとの国境ピレネー山脈のふもとにあり、人口約17万人でナバラ州の州都です。毎年7月に行われる「サン・フェルミン祭」は「牛追い祭り」として世界的に知られています。

近郊には、日本に初めてキリスト教を伝え、山口市にも滞在したフランシスコ・サビエルの生まれたハビエル城があることなどから、昭和55年に姉妹都市締結を行いました。山口市では、このほかに中国・済南市、韓国・公州市と姉妹友好都市交流を行っています。



**パンプローナ杯少年サッカー大会
(昭和63年～)**

パンプローナ市から少年サッカー用トロフィーが贈られたことをうけて、パンプローナ杯争奪少年サッカー大会を、昭和63年から毎年開催しています。



**山口公園が完成
(平成9年)**

姉妹都市締結15周年を記念してパンプローナ市に建設が進められていた日本庭園が完成しました。



**スペースパンプローナ完成
(平成5年)**

一の坂川にかかるえびす橋がガーデンブリッジに改修され、パンプローナ市をイメージした公園「スペースパンプローナ」となりました。

山口市とスペイン・パンプローナ市が姉妹都市となったのは昭和55年（1980年）。今年はそのからちょうど20年という節目の年にあたります。また、姉妹都市締結のきっかけとなったサビエル来山から450年にあたります。そこで、これまでのパンプローナ市との国際交流の様子を写真で振り返ってみましょう。



賀春

山口市議会議長 秋本邦彦

輝かしい新春を迎え、市民の皆様に謹んでお喜びを申し上げます。

新しい世紀の扉が間もなく開かれようとしている今日、国の内外ともに改革の動きが一段と激しさを増しており、時代の流れに的確に対応していくためには、意識改革や制度改革を進めていくことが重要であると考えております。

このように社会経済情勢が大きく変革をする中にありまして、本市では、中核都市づくり、地域経済の活性化、少子・高齢社会、あるいは分権型社会への対応など当面する課題に積極的に取り組んでいるところであります。

分権時代の到来は「真の地方自治」の確立が求められるものであり、市議会にとりましても正に真価が問われると考えておりまして、議会運営の改革や活性化に一層の努力をしまいたまいます。

皆様の力強いご指導、ご協力をお願い申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。



賀正

山口市長 佐内正治

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の門出にあたり皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

近年、少子・高齢化や価値観の多様化など社会経済情勢の変化には著しいものがあり、これらに対応すべく本市の目指す目標と施策の基本方向を新しく定めた「第五次山口市総合計画」が今年からスタートします。この計画では、本市の目指す都市像であります「自然と都市が共存し、文化に彩られた21世紀の中核都市」の実現に向け、諸情勢の変化に的確かつ柔軟に対応しながら個性あるまちづくりの実現に邁進する所存です。

また、本年は「21世紀のとびらを開くまちづくり行動元年」と位置付け、新しい発想で新世紀の基礎づくりとなる事業展開を市民皆様との連携のもと積極的に進めてまいりたいと考えております。

希望に満ちた21世紀に向け、今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

これからの山口とパンプローナ



山口公園建設の際、造園技師として現地で指導にあたられ、またスペインとの交流を図る「山口ナバラの会」の会員でもある多々良健司さんの話

モノや情報だけでなく、人間と人間がじかに接してこそ、真の交流が生まれるのだと思います。そういう意味で、パンプローナには友好の果実ともいべき山口公園ができあがっているのです、そこで積極的な文化交流ができるようになればと思っています。具体的にはパンプローナでちょうちんまつりや、縁日のようなものができたら面白いのではと思っています。

また、スペインからも積極的に人を受け入れられるようにして、人的な交流がもっと進められればと思います。

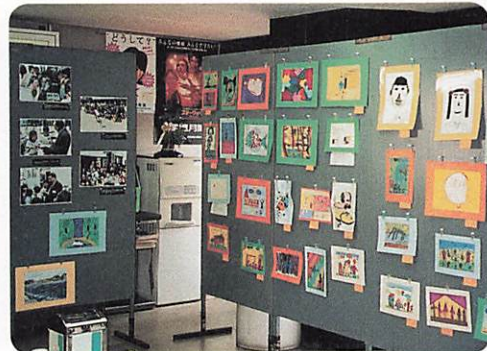
20周年を期に、これからさらに情熱を持って交流を深めていくことができたらと思っています。



市民訪問団が交流 (平成9年) 山口公園完成を記念して市民訪問団がパンプローナ市を訪れ、「大内のお殿様」を現地市民と一緒に踊るなどして交流を図りました。

大殿小学校と、パンプローナ市のホセ・マリア小学校が互いに描いた絵画を交換して交流を図りました。

小学生が絵画で交流 (平成10年)



山口市の顔である湯田温泉を 元気に 岡田隆志さん

昨年、湯田温泉21世紀フォーラムや湯田温泉活性化シンポジウムの運営を支援された湯田まちサポーターズの代表、岡田隆志さん。

「最初は、ワークショップについて勉強したいと思って、山口市まちづくり達人養成塾に参加しました。山口市の顔である湯田温泉をなんとかしたいと思っていたところ、フォーラムが開催されるという話を聞いたことから、養成塾のメンバーで湯田まちサポーターズを結成しました。」

「今後は、湯田温泉の身近な問題の解決に協力したり、湯田温泉活性化の効果調べたり、今まで湯田温泉まつりに参加できなかった高齢者や身障者の方が参加できるように支援したりするなどの活動をしていければと考えています。また、メンバーの中に湯田温泉出身の方が少ないので、湯田温泉出身の方も気軽に参加してほしいです。」



湯田温泉21世紀フォーラムで、養成塾の考えた湯田温泉について発表する岡田さん



子どもからお年寄りまで楽しめる 道の駅に 須藤節子さん

今年10月にオープン予定の道の駅「仁保の郷」。須藤節子さんは、道の駅で販売する加工品の商品開発に関わっています。

「仁保の特産品を使ったお菓子を作るため、仁保地区の女性7人が、昨年の1月からお菓子づくりのプロに指導を受けています。道の駅の目玉になるような商品が作れたらいいと思います。道の駅は、地区外との交流の場となることはもちろん、なにより地域内の交流の場になると思います。会合などで人が集まるといつの間にか道の駅の話になって、そこからいろいろなアイデアも生まれています。」

「子どもからお年寄りまで楽しめる道の駅になってほしいです。そのためにも、仁保のいろいろな世代や立場の人の参加が必要。道の駅は、仁保のこれまでの村づくりの集大成になるのでは。」

今は「期待と不安でいっぱい」という須藤さん。オープンに向けて、仲間とのやりがいのある毎日が続いています。



プロの指導を受ける仁保地区のみなさん



子どもたちに豊かな自然を 伝えたい 平野洋子さん

山口市を快適で住みやすいまちにするために、市が平成12年度に策定を計画している山口市環境基本計画。その計画案に対して市民の立場から意見を述べる策定懇談会委員を務められる平野洋子さん。

「山口市の人口が、このたび14万人を越えたということで、一般的には住みやすくなってきたのかな?と思います。でも、自分たちの都合の良いように自然に手を加えるというのではなく、山口のきれいな山とか川といったところは、子どもたちに伝えていきたいと思っています。」

「便利さに慣れきってしまうことなく、余分なものは消費しない、リサイクルを進められるような社会、自然と共生できる社会になるよう願っています。」

これから、懇談会で一般市民の素朴な声を行政の方にしっかり伝えていきたいと思っています。」



山口市環境基本計画策定懇談会委員の委嘱状を受け取る平野さん

たくさんの高校生が参加する 山口きらら博に 梶田裕二さん

きらら博を契機に、21世紀の新しい山口県づくりを目指して設立された「きららネット」。その最年少幹事である梶田裕二さん（高校1年）。学校では、美術部に所属、油絵創作活動をしています。

「この春、高校に入学し何か新しいことにチャレンジしたいと思っていた」ところ、県民参加会議委員募集の広告を知り、応募したとのこと。

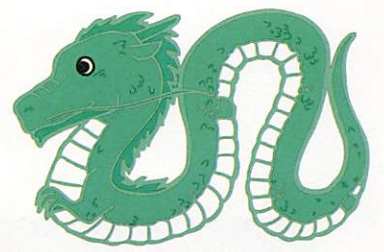
「きららネットの一員として『きららネット』を知ってもらうことを中心に活動しています。広報部門に所属し『元気人間』の発掘、紹介のサポートに先輩幹事さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。『きらら博づくり』、『21世紀の山口づくり』にみんなで行き届くことを通じて、人から得るものを探し、身につけていこうと思っています。自分も高校生なので、たくさんの高校生の仲間が参加するきらら博にできたらと思います。」



油絵創作活動に役立てるため、美術館を訪れた梶田さんと美術部のみなさん

参加しています

山口市では、新世紀に向けて、市民参加のまちづくりを積極的に進めています。新年にあたり、まちづくりに取り組んでいるみなさんにお話をうかがいました。



山口の たつ あれこれ

今年辰年。十二支中、唯一空想の動物である辰は、竜や龍とも書き、世界各地にさまざまな形で伝えられています。ここでは、山口にまつわる龍について紹介します。

地名の中の龍

市内の町名・字名・山の名前の中に龍や辰の文字を見つけることができます。龍王町・竜花・辰石・辰ノ村・辰野原・龍山・龍が嶽・龍花院・龍神崎・古龍神・龍光寺などがあります。これらの地名には、龍にまつわる昔話が残っていたり、古来より雨乞いを行っていた、海上の交通安全を祈願した、龍の名の付く寺社等があったなどがあります。



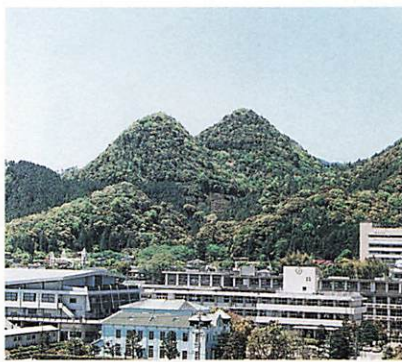
龍山の龍銭司

龍山の龍銭司

山陽自動車道山口南インターチエンジそばの龍山は、この地を開墾したとき山頂に龍神をまつり、この名が付いたといわれています。水不足の夏には、山頂で雨乞いの火を焚いたと言われています。

龍王山（兄弟山）

白石と湯田にまたがる兄弟山は、別名ふたご山とも呼ばれていますが、高い方の兄山（258メートル）には、雨乞いを行ったと言われるほこらがあり、昔は上の龍王と呼ばれ低い方の弟山は下の龍王と呼ばれたようです。



龍王山（兄弟山）

昔話の中の龍

仁保の龍

仁保上郷にある犬鳴の滝周辺は、水源の森として整備されていますが、滝壺の近くに潜龍洞と呼ばれる洞穴があります。昔この洞穴には龍が棲んでいて、夜な夜な滝を登り小河内の奥にある竜野岳

生活の中の龍

明治の銀貨1円（龍銭司蔵）

貨幣

明治4年に新貨幣条例が制定され、近代的な貨幣が造られました。この貨幣には金貨や銀貨があり、それぞれには、龍の文様がデザインされていました。龍は、古来中国では天子を象徴するということが採用されたこと。なお、これらを含む貨幣は、市歴史民俗資料館や龍銭司郷土館に所蔵されています。

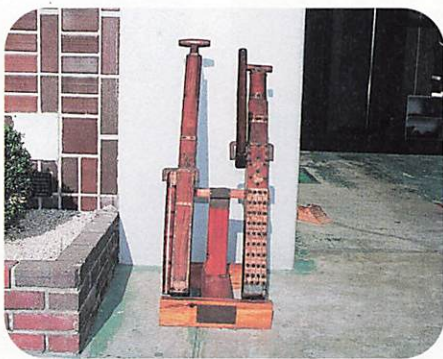


龍吐水の近くの犬鳴の滝

（5.82・7メートル）頂上から雲を呼び天へ昇っていったという言い伝えがあります。

龍吐水

龍吐水は、江戸時代に西日本を中心に普及した消防器具です。その仕組みを一言で表現すると、大きな水鉄砲のようなものです。裕福な家庭では、常備具とした家もあったとのこと。山口・小郡消防組合は、寄贈を受けた龍吐水を2基所有しています。



龍吐水（山口・小郡消防組合所蔵）

文化財の中の龍

鰐口の中の龍

大殿八幡馬場にある今八幡宮の鰐口は、室町時代周防長門など7州の守護大名であった大内義隆が、今八幡宮に寄進した物です。

鰐口とは、寺社の神殿や寺殿の正面につるし、参拝者が綱をふって鳴らすものです。この鰐口の二つの釣り手には龍頭が施してあり、表面には龍、雲、水がデザインされています。直径が85センチメートル、厚さ30センチメートルもあり、鰐口としては巨大な物です。刻印には天文3年（1534年）葦屋（現在の福岡県遠賀郡若尾町）の金屋大工、大江朝臣宣秀の作で



▲今八幡宮の鰐口



あることが印してあります。铸造者、铸造場所、铸造年代がはっきり記録されており貴重な資料として、昭和34年に国の重要文化財に指定されています。

この鰐口は、市歴史民俗資料館に寄託され、現在資料展示が行われています。



▲興隆寺の梵鐘



梵鐘の中の龍

梵鐘とは、明け六つ（午前6時頃）や暮れ六つ（午後6時頃）に時を告げる場合等に使われるものです。大内水上の妙見社にある興隆寺の梵鐘には雲竜文様が施してあり、釣り手には龍頭がデザインされています。この梵鐘の銘文には、享

禄5年壬辰（1532年）葦屋（現在福岡県遠賀郡若尾町）の金屋大工、大江宣秀に造らせ、大内義隆が興隆寺に寄進したことが、刻印されています。

銅製の梵鐘の大きさは、高さ189センチメートル、口径が111センチメートルと大きなものです。この梵鐘は、昭和34年に国の重要文化財に指定されています。今八幡宮の鰐口と同様に大内文化を代表する工芸品です。

ご覧ください 山口市の 広報番組

1月の放送 予定です

山口のんた情報

毎日午前8時20分、午後1時20分、午後6時、午後10時35分から随時20分間、山口ケーブルテレビで放送

○1月1日～15日放送

「新春対談」

○1月16日～31日放送

「南部紹介③佐山地区」

わたしたちのまち山口

毎週日曜日、午前11時40分からテレビ山口で放送。

○1月9日・16日放送

「市長新春インタビュー」

○1月23日・30日放送

「分別しましょう」

やまぐちしま専科

毎週水曜日、午後5時30分頃から山口朝日放送の「5時からワイド」の1コーナーで放送。

平成12年
山口市消防出初式

◇日時 1月9日(日) 午前10時
午後零時20分

◇場所 山口南総合センター(名
田島1218-1)

◇内容 式典、検閲および観閲行
進、腕用ポンプ2台による放水、
一斉放水

※当日、温かい豚汁(無料)を5
00人分用意します。

◇問い合わせ 市総務課消防担当
(☎932-2600)

2000年問題の対応

市や事業者では、西暦2000年問題により障害が発生しないように対応に取り組んできました。万が一、2000年問題により市民の皆さんに影響が及ぶような障害が発生した場合には、「山口市コンピュータ西暦2000年問題対策本部」および「山口市災害対策本部」を設置します。その場合の電話番号は922-4111です。

◇問い合わせ 市情報企画課(☎

934-2755/FM932-1779/Eメール

cityyama@ymg.urban.ne.jp)

ガイドヘルプサービスの利用枠が広がりました

市では、重度視覚障害者、全身性障害者の皆さんへ外出時の介助等のサービスであるガイドヘルプサービスを提供しています。

1月1日から、今までの外出範囲に加え、友人宅訪問、理・美容院、コンサート等が加わりましたので、ご利用ください。

◇問い合わせ 市高齢障害課(☎934-2794)

土曜当番医の変更

1月の吉南医師会土曜当番医に変更がありました。

○15日：三隅外科胃腸科↓同仁病院(☎0836-65-555)
22日：同仁病院↓三隅外科胃腸科(☎083-972-1003)

県有地の一般競争入札

【大内御堀269-5】

◇面積 273・55平方メートル

◇入札日 1月27日(木) 午前10時から

【大内御堀2122-2】

◇面積 265・49平方メートル

◇入札日 1月27日(木) 午後1時30分から
前記いずれも

◇入札場所 第三号会議室(県庁4階)

◇事前説明会日時 1月14日(金) 午後2時から(現地で実施)

◇問い合わせ 県管財課(☎933-2228)

第16回新春バドミントン祭

◇日時 2月2日(水) 4日(金)

・昼の部(個人戦)：受付は午前9時まで、競技は9時30分から

・夜の部(団体戦)：受付は午後6時15分まで、競技は6時30分から

◇場所 県スポーツ文化センター

◇申し込み 1月15日(土)までに(財)山口県施設管理財団備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、同財団(〒753-0811吉敷北河内3995-1

☎922-2754)へ

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は辰年。辰はリユウとも呼ばれ、紙面でも紹介したように、地名や伝説、デザインや言葉などに結構みられます。竜のつく言葉に「登竜門」があります。黄河上流の急流の渓谷「竜門」を登りきった鯉が竜になるという中国の伝説から、成功への一歩となる難関という意味があります。辰年にあやかっ、市報も飛躍の年になるよう今年もがんばります。

表紙写真説明

川東地区と川西地区を結ぶ周防大橋付近の海岸から、山口湾に昇る朝日を撮影しました。

